

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目			合計
人文社会科学部	人間文化課程 地域政策課程	夜・通信	14		6	20	13	
教育学部	学校教育教員養成課程	夜・通信			28	42	13	
理工学部	化学・生命理工学科 物理・材料理工学科 システム創成工学科	夜・通信			9	23	13	
農学部	植物生命科学科 応用生物化学科 森林科学科 食料生産環境学科 動物科学科	夜・通信			16	30	13	
	共同獣医学科	夜・通信			31	45	19	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

岩手大学ホームページ https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/study-support.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 無
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

岩手大学ホームページ
<https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/study-support.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	国立大学法人名古屋大学財務部長	2020.4.1～ 2022.3.31	財務・労務担当
非常勤	共益商事株式会社 代表取締役社長	2020.4.1～ 2022.3.31	経営企画担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講予定の各科目について、前年度3月に「授業の目的」「到達目標」「授業の概要(「授業の内容」に該当)」、「授業の形式(「授業の方法」に該当)」「成績評価の方法と基準(「成績評価の方法・基準」に該当)」等の項目からなる授業計画書(シラバス)を作成し、Web上で公表している。 ・「シラバス作成の手引き」を授業担当者に配布し、授業計画書(シラバス)作成の一助としている。 	
授業計画書の公表方法	https://ia2.iwate-u.ac.jp/websyllabus/ippan/slbsCtlDspIppan.php?new=1
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定に伴う成績評価については、「成績評価のガイドライン」を策定し、それに基づき各科目でシラバスに明示し、実施している。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・GPA を指標として設定し、算出方法について「履修の手引き」等を通じて教員及び学生に明示している。 ・算出された GPA は、システム(アイ フォリオ)により各学生の成績通知の画面に明示されている。 ・各科目の成績評価比率は、全学会議（教育推進機構会議）を通して全教員が共有している。 ・GPA を用いて個別指導対象学生を選定するなどの取組を行っている学部、コースもある。 <p>【GPA 算出方式】 $\text{GPA} = \frac{\text{「秀」単位数} \times 4 + \text{「優」単位数} \times 3 + \text{「良」単位数} \times 2 + \text{「可」単位数} \times 1}{\text{「秀」単位数} + \text{「優」単位数} + \text{「良」単位数} + \text{「可」単位数} + \text{「不可」単位数}} \quad \text{①}$ ※①は取得単位数、②は履修単位数</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<p>「履修の手引き」（入学年度ごとに作成）を本学HPで公表 2020 年度入学者用は、下記にアクセスし 17 ページ『用語集』参照 https://www.iwate-u.ac.jp/campus/course/guide.html</p>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学位授与の方針を定め、公表している。 ・学位授与の方針の達成状況について、初年次から学期毎に取得単位及び自己評価の調査を行っている。 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/diploma.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.iwate-u.ac.jp/about/finance/statement.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.iwate-u.ac.jp/about/finance/statement.html
財産目録	非公表
事業報告書	https://www.iwate-u.ac.jp/about/finance/statement.html
監事による監査報告(書)	https://www.iwate-u.ac.jp/about/finance/statement.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:国立大学法人岩手大学年度計画 対象年度:平成31年度)
公表方法: https://www.iwate-u.ac.jp/about/evaluation/info.html
中長期計画(名称:国立大学法人岩手大学中期計画 対象年度:平成28~令和3年度)
公表方法: https://www.iwate-u.ac.jp/about/evaluation/info.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.iwate-u.ac.jp/about/evaluation/self-inspection.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.iwate-u.ac.jp/about/evaluation/certification.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文社会科学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/files/education/01_kyoikukenyumokuteki.pdf)</p>
<p>(概要) 「総合化と専門深化」の教育理念に基づき、現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/files/diploma/h28_di_policy_human.pdf)</p>
<p>(概要) 各課程のプログラム毎に、(知識・理解)、(思考・判断)、(技能・表現)、(関心・意欲・態度)の4項目の能力について定め、修得した者に学位を授与している。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/files/curriculum/R2_cu_policy_human.pdf)</p>
<p>(概要) 教養教育で得た多様な学問領域の基礎的知識および基本的思考力、幅広く深い教養と総合的な判断力等を踏まえ、学位授与の方針に基づき、専門教育科目を「学部共通科目」、「課程科目」、「専修プログラム科目」の3つのカテゴリーに分け、体系的な教育課程を編成している。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/upload/images/2020_ap_jin.pdf)</p>
<p>(概要) ・人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識を有し、物事を論理的に考えることができる人 ・多様な考え方、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えることができる人 ・人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人 ・自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人 ・地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/files/education/01_kyoikukenyumokuteki.pdf ）
（概要） 教員養成の専門学部として、教育に関する理論的・実践的な力量、教育内容とその背景をなす諸学問の理解及び豊かな人間性・社会性を備え、地域の要請に応えつつ、教員としての意欲と高い使命感をもって教育に取り組むことができる教員の養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/files/diploma/h28_di_policy_edu.pdf ）
（概要） コース毎に、（知識・理解），（思考・判断），（技能・表現），（関心・意欲），（態度）の 5 項目の能力について定め、修得した者に学位を授与している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/files/curriculum/h3107_cu_policy_edu.pdf ）
（概要） 学士課程を修めた知識人として幅広い教養と豊かな人間性を養うことを目的とし、幅広い分野について単位修得ができるように教養教育科目を配置し、専門教育科目は 5 つの科目に区分して編成し、充実した教員養成を行うため多様な科目を用意している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/upload/images/2020_ap_kyou_1.pdf ）
（概要） ・幅広い教養教育と教員になるための専門教育に主体的に取り組む基礎となる知識・技能を有する人 ・知識を活用し論理的に思考・判断する資質・能力を有する人 ・多面的な考え方や協調性を尊重するとともに、自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を有する人 ・学校教育に関わる種々の問題に関心を持ち、教員として社会に貢献する強い意欲を有する人 ・豊かな人間性と子どもに対する深い愛情を有する人・生涯学び続ける態度を有する人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 理工学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/files/education/01_kyoikukenyumokuteki.pdf ）
（概要） 幅広い教養と豊かな人間性を基礎として理工学分野における基礎学力と専門的な知識と技術を有し、自然科学の様々な現象を根源的かつ包括的に捉えながら人間社会と自然環境の共生を図りつつ理工学分野の多様な課題の解決に取り組むことを通して地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる人材の養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/files/diploma/h28_di_policy_eng.pdf ）
（概要） 各学科のコース毎に、（知識・理解）、（思考・判断）、（技能・表現）、（関心・意欲・態度）の 4 項目の能力について定め、修得した者に学位を授与している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/files/curriculum/h31_cu_policy_eng.pdf ）
（概要） ・コース毎に、学位授与の方針を実現するために編成・実施している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/upload/images/04_riko_ap.pdf ）
（概要） ・ 科学技術の発展に必要とされる理工学や工学分野に強い関心と学ぶ意欲があり、更には地域や社会における課題への理解力と地域貢献への意欲を持ちつつ明確な目標を持って行動できる人 ・ 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を持つとともに、理工学および工学分野の学修に関連する科目に関する基礎的な知識をもち、その知識を展開する技能を持つ人 ・ 理工学分野又は工学分野における課題を発見・探求し、解決したいという積極性を持ち、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人 ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ、必要な相手に伝えたいことを表現できる人 ・ 多様な経験をもとに協働して学び、主体的に創造性豊かな発想ができる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 農学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/files/education/01_kyoikukenyumokuteki.pdf ）
（概要） 幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の重要分野である植物生命、応用生物化学、森林科学、食料生産環境、動物科学、獣医学の専門分野における、基礎的・応用的な専門知識と技能を修得することにより、地域及び国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/files/diploma/h28_di_policy_agr.pdf ）
（概要） 各学科又はコース毎に，（知識・理解），（思考・判断），（技能・表現），（関心・意欲），（態度）の 5 項目の能力について定め，修得した者に学位を授与している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/files/curriculum/R2_cu_policy_agr.pdf ）
（概要） ・植物生命科学科、応用生物化学科、森林科学科、食料生産環境学科（農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース・水産システム学コース）、動物科学科、共同獣医学科ごとに、教養教育科目、学部専門基礎科目、学部共通科目、共通教育科目（共同獣医学科）及び学科・コース専門教育科目で構成される系統的な教育課程を編成している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/upload/images/2020_ap_nou.pdf ）
（概要） ・農学分野の自然科学，生命科学，社会科学等を学ぶに相応しい基礎学力を有する人 ・農学分野に関するグローバルな問題を地域の視点から論理的にとらえる思考力を有する人 ・生命の尊さを知り，食料生産技術や生物資源の開発と利用について専門的知識を修得する意欲のある人 ・農学分野に関する論理的思考力を有し，持続可能な社会の実現に向けて行動できる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	8人	—					8人
人文社会科学部	—	34人	29人	0人	1人	0人	64人
教育学部	—	31人	31人	0人	0人	0人	62人
理工学部	—	47人	52人	1人	27人	0人	127人
農学部	—	38人	42人	3人	17人	0人	100人
大学院	—	5人	1人	0人	0人	0人	6人
その他	—	13人	15人	0人	4人	0人	32人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		399人					399人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法： http://univdb.iwate-u.ac.jp/				
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の休業期間中に、全学FDの日を設け、全教員を対象にFD講演会を行っている。 ・学部等においても、学部内のFD組織が年間数回のFD研修会を計画し、実施している。 ・本学教員の平成31年度のFD参加率は、77.4%であった。 							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文社会科学部	200人	210人	105.0%	820人	905人	110.4%	10人	15人
教育学部	160人	172人	107.5%	640人	714人	111.6%	-人	-人
理工学部	440人	464人	105.5%	1,800人	1,909人	106.1%	20人	9人
工学部	0人	0人	-%	0人	42人	-%	-人	-人
農学部	230人	241人	104.8%	990人	1,062人	107.3%	5人	0人
合計	1,030人	1,087人	105.5%	4,250人	4,632人	109.0%	35人	24人
(備考) 令和2年度入学生数で令和2年5月1日現在の数。入学者数には編入生数含む。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文社会科学部	216人 (100%)	17人 (7.9%)	177人 (81.9%)	22人 (10.2%)
教育学部	168人 (100%)	11人 (6.5%)	149人 (88.7%)	8人 (4.8%)

理工学部	374人 (100%)	199人 (53.2%)	165人 (44.1%)	10人 (2.7%)
工学部	27人 (100%)	3人 (11.1%)	19人 (70.4%)	5人 (18.5%)
農学部	232人 (100%)	62人 (26.7%)	158人 (68.1%)	12人 (5.2%)
合計	1,017人 (100%)	291人 (28.6%)	668人 (65.7%)	58人 (5.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 主な進学先：本学大学院総合科学研究科 主な就職先：公務員，製造業関係				
(備考) 令和元年度の情報				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
人文社会科学部	212人 (100%)	188人 (88.7%)	19人 (8.9%)	4人 (1.9%)	1人 (0.5%)
教育学部	174人 (100%)	154人 (88.5%)	20人 (11.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
理工学部	453人 (100%)	361人 (79.7%)	75人 (16.6%)	16人 (3.5%)	1人 (0.2%)
農学部	246人 (100%)	215人 (87.4%)	21人 (8.5%)	8人 (3.3%)	2人 (0.8%)
合計	1085人 (100%)	918人 (84.6%)	135人 (12.4%)	28人 (2.6%)	4人 (0.4%)
(備考) 入学者数は、令和元年度に修業年限を満たす者の人数。その他は除籍の人数。					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 【様式第2号の3より再掲】
・開講予定の各科目について、前年度3月に「授業の目的」「到達目標」「授業の概要（「授業の内容」に該当）」「授業の形式（「授業の方法」に該当）」「成績評価の方法と基準（「成績評価の方法・基準」に該当）」等の項目からなる授業計画書（シラバス）を作成し、Web上で公表している。
・「シラバス作成の手引き」を授業担当者に配布し、授業計画書（シラバス）作成の一助としている。

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 【様式第2号の3より再掲】				
・単位認定に伴う成績評価については、「成績評価のガイドライン」を策定し、それに基づき各科目でシラバスに明示し、実施している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文社会科学部	人間文化課程	125 単位	有	24 単位
	地域政策課程	125 単位	有	24 単位
教育学部	学校教育教員養成課程 (小学校教育コース)	136～145 単位	有	24 単位
	学校教育教員養成課程 (中学校教育コース)	134～143 単位	有	24 単位

	学校教育教員養成課程 (理数教育コース)	139 単位	有	24 単位
	学校教育教員養成課程 (特別支援教育コース)	135 単位	有	24 単位
理工学部	化学・生命理工学科	127 単位	有	24 単位
	物理・材料理工学科	127 単位	有	24 単位
	システム創成工学科	127 単位	有	24 単位
農学部	植物生命科学科	126 単位	有	24 単位
	応用生物化学科	126 単位	有	24 単位
	森林科学科	126 単位	有	24 単位
	食料生産環境学科	126 単位	有	24 単位
	動物科学科	126 単位	有	24 単位
	共同獣医学科	202 単位	有	24 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 : https://		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 : https://		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
全学共通		535,800 円	282,000 円	円	円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ・学修支援室を設置し、理数系科目を中心に学生の修学支援を行っている。 http://uec.iwate-u.ac.jp/lsr/web/index.html ・学生特別支援室を設置し、障がいのある学生の修学支援を行っている。 http://uec.iwate-u.ac.jp/osr/index.html
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ・学生支援課キャリア支援グループにおいて、キャリア相談室を設け、就職やキャリア支援を行っている。 https://www.iwate-u.ac.jp/career/zaigakusei.html
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ・保健管理センターを設置し、医師・保健師が常駐して、心身の健康等に関する支援を行っている。 http://expiwjm.adm.iwate-u.ac.jp/gaku/hoken/index.html

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考) 制度導入が令和2年度からのため、前年度の実績は無し。				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数
0

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考) 制度導入が令和2年度からのため、前年度の実績は無し。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及び専 門学校（修業年限が2年以下のもの に限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考) 制度導入が令和2年度からのため、前年度の実績は無し。	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考) 制度導入が令和2年度からのため、前年度の実績は無し。	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考) 制度導入が令和2年度からのため、前年度の実績は無し。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。